

Shine

津幡南中学校長 永井 隆和
1年学年主任 村上 直哉

南極の風を感じた日 ～ 南極の氷に触れる体験 ～

9月28日(木)に南極の氷が本校に漂着しました。自衛隊員が南極観測艦「しらせ」に乗船した時に、採取した氷だということで、その氷を五感で体験することができました。石川県で5つの中学校に白羽の矢が立ち、今回最後の選ばれし学校となりました。20cm四方に切り取られた氷が体育館に運ばれ、生徒たちは食い入るようにその姿を見ながら南極の学習を行い、改めて自然の偉大さを感じることができました。そのあと、氷を実際に触って体験することができました。普通の氷よりも濃度が濃く、冷たく感じました。また、砕いた氷をピーカーに入れ水を注ぐと、パチパチと音を出し、数十万年前の空気を感じることができました。とても貴重な体験に、生徒たちから歓声が上がっていました。また、質問コーナーでも積極的に発言する姿が多くみられました。体験から感じたことをアウトプットする素敵な姿に、半年間の中学校生活での成長と



ひとりずつが南極氷に触れる

感じる事ができました。



数十万年前の空気の音を聞く

「南極」ってこんなところ！

- ・南極の氷の深さは・・・4000m
※富士山は標高3776mだから、それより深い！
- ・南極の氷が全部解けると・・・海面上昇58m
※大都市が水没する
- ・南極には・・・白夜がある
- ・南極の氷は・・・雪でできている
- ・数十万年前の空気が含まれた氷で・・・白っぽい



家庭学習が本格化！ みんながんばっています！

10月6日(金)に中間テストが行われます。放課後の諸活動が禁止(大会を控えてる部以外)となり、家庭学習にも熱が入ってきたころと思います。学年プログラム委員会では、家庭学習の充実を図るために、テスト期間中のひとり当たりの家庭学習時間を「25時間以上」に設定しました。学年の掲示板にも「サボローくん撃退!!」の掲示物が作られ、盛り上がってきました。今回は、先月末に白熱した運動会の「団のカラー」で塗りつぶすようになっていきます。週末の家庭学習を終えた現在の様子は、右写真のようになっています。前回の自分を越える結果を手に入れるために、みんなで学習の雰囲気づくりを行い、高めあってほしいと願っています。



後期の学級役員・専門委員が決まりました！

後期の各学級の会長・副会長・書記・専門委員が決定しました。10月2日（月）からその活動がスタートします。半年間、学級や学年、そして学校のためにしっかりとその責任を果たしてほしいと思います。

	1組	2組	3組	4組	5組	6組
学級役員						
会長	谷川 蒼太	山田 照	赤坂 悠真	小泉 葵	本井 彪登	北川 紗弥
副会長	武藏川 怜依	宇野 樹乃	荻野 優月	池田 海音	貝原 歩華	佐野 遥斗
書記	太島 秀明 和沢 彩花	坂田 瑛斗 寺井 柚芽	卜部 怜太 浦 あおい	野上 絢慎 岸本 菜瑚	中谷内 健生 富田 せら	水越 蒼介 櫻井 優羽
専門委員会						
文化委員	葭田 宗介 桶本 彩心	横井 暁 柴田 瑞葉	古屋 敬丞 前田 実音	山本隆ノ介 小又 璃有	中川 惺斗 福壽 眞心	山岸 蒼空 中嶋 梨乃
生活委員	上野 智貴 松山 柚奈	藪中 陽太 竹本ほたる	上谷内 丈 岡本 実央	小坂 涼太 紙谷 羽菜	松本 寛人 白江 菜月	加藤那由多 小牛尾結衣
保健委員	神前 和志 廣井 愛莉	埴生 滉大 木下 結花	高井 颯希 中塚 琉夏	前田 慶大 村井 悠愛	伊藤 遙希 福田ひより	中井 凌平 寺沢 紗愛
給食委員	堀 春太郎 倉知ななみ	安田 佑奨 奥村 風花	吉野 湧太 森川 莉奈	指本 眺伸 竹谷 萌花	中西 晃大 鹿嶋 咲瑛	渡辺 孝太 絹谷 柚
体育委員	細山 竜聖 櫻井 舞友	道端 祐羽 岡田 蓮翔	犀藤 源太 高崎 滯	赤田 桜翔 池本 和華	丹羽 一智 野上 絢愛	橋本 旬葵 林 里吏
美化委員	伊東 文太 藏野 華音	河内 湊 宮田 芽依	篠塚 洋介 高磯 亜海	泉 透馬 北 瀬奈	田川 涼茉 東賀 千怜	干場 愛夢 大石 莉子
図書委員	濱坂 陸希 二木 玲南	能山 翔颯 太田 蒼佳	馬木 優太 石倉 悠梨	井上 泰地 山方 芽衣	高山 颯太 中嶋日菜多	山崎 隼都 本田 怜奈

裏面には、後期のプログラム委員の決意が掲載されています

前期プログラム委員より、後期委員へ “つなぐ”

★プログラム委員としてクラス・学年をまとめ、よい方向に導くことができたかと思います。特にそれが実感できたのは、遠足など学年での活動を通して、みんながいろんな人と仲良くなった場面でした。実際に、自分自身も初めて会う違う小学校から来た仲間と仲良くなれました。他にも、学年集会や全校集会で前に出て話すこともありました。これから僕は、プログラム委員で得た経験を活かし、自分からどんどん前に出て頑張っていこうと思います。（学年プログラム委員長 ⑤高木優臣）

★僕は、自分の役割に責任を持って取り組むことの大切さを学びました。また、遠足などの活動を通して、人の前で話す力が身につきました。これから、これらのことを活かして、委員会や係の仕事に責任を持って取り組み、お手本となるようにしていきたいです。（学年プログラム委員副委員長 ⑥早川透生）

☆プログラム委員を通して学んだこと・身についたこと

- ・定期テストの掲示物を見やすく作ることができた。また、積極的に発言できた。（⑥林 里吏）
- ・テストに向けての工夫やみんなをまとめる力がついた。（④池田海音）

☆プログラム委員の活動の思い出

- ・遠足のレクリエーションをやり切ることができた。（①岡村俐沙、①谷川蒼太、④野上絢慎）
- ・学級対抗リレーで学年目標を感じるすることができた。（②道端祐羽）

☆やり残したこと・これからの課題

- ・授業終始のあいさつを元気よくしたい（②山本椋斗）
- ・積極的に意見を言っていきたい（③岡本実央）
- ・気を引き締めて学校生活を楽しみつつ、全力で頑張りたい。（③吉野湧太）
- ・学年の一人として、協力し合い、より良い学年にしていきたい。（⑤野上絢愛）

